

第6章 成果と課題

本研究では、平成15年度から2年間にわたって、「児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力到達目標に関する研究」を行ってきた。ここでは、その研究の成果と課題を述べる。

1 研究の成果

県内の全公立小・中学校における、各学校の情報教育に関する取組の現状と課題を把握できた。

小・中学校における情報活用能力到達目標（例）を設定することができた。

情報活用能力到達目標（例）の年間指導計画（例）等を示したことにより、情報活用能力を育成する主な教科・単元等と到達目標（例）との関連を明確に示すことができた。

具体的な授業の実際と考察を示すことにより、各学校における体系的な情報教育の推進が可能になるものと考えられる。

2 今後の課題

すべての小・中学校において、「情報教育の全体計画」が作成され、コンピュータやインターネットを活用する場面が明記された指導計画に基づいて、学習指導が行われるよう啓発する必要がある。

小・中学校における情報活用能力到達目標（例）一覧の妥当性を更に検証し、よりの確な情報活用能力到達目標（例）一覧の確立に努める必要がある。

小・中・高等学校段階を通じた体系的な情報教育の推進を図るため、高等学校段階における情報活用能力到達目標（例）を作成する必要がある。

1 研究の成果

本研究では、平成15～16年度の2年間にわたって、体系的な情報教育の推進を図るため、「児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力到達目標に関する研究」を行ってきた。ここでは、本県における情報教育の現状と課題を把握し、小・中学校の児童生徒の発達段階に応じた到達目標（例）を示すとともに、具体的指導方法までの研究成果を述べる。

本県における情報教育の現状把握

情報教育の実態調査を通して、本県の情報教育の現状と課題を把握することができた。特に、「情報教育の全体計画」の作成状況は、県内の全公立小学校では約56%、中学校では約33%であったことを踏まえ、全体計画案や具体的到達目標（例）を提示することが、本県の情報教育推進のために必要であることが分かった。

情報教育の到達目標（例）の作成

情報活用能力の三つの観点の「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」について、小学校から中学校までの学習内容を見通し、到達項目（例）を設定した。

それぞれの項目について、児童生徒の発達段階に応じた情報教育の到達目標（例）として一覧表にまとめた。

以上のことから、どの学年でどのような内容を指導すべきかを示すことができ、小・中学校を通じた体系的な情報教育の推進が可能になった。

到達目標（例）に基づく指導計画の作成

小・中学校における情報教育の全体計画（例）や学年別の年間指導計画（例）などを示したことにより、校種・各学年という縦の関係の情報教育の推進、また、同学年という横の関係の情報教育の推進が可能になるものとする。

到達目標（例）に基づく授業の検証

「情報活用の実践力」を育成するための学習指導、「情報の科学的な理解」を深めるための学習指導、「情報社会に参画する態度」を育成するための学習指導について、実証授業を通して検証することができた。

また、具体的な授業の実際と考察を示したことにより、各学校における情報教育の推進を図ることが可能になるものとする。

2 今後の課題

すべての小・中学校において、「情報教育の全体計画」が作成され、コンピュータやインターネットを活用する場面が明記された指導計画に基づいて、学習指導が行われるよう啓発する必要がある。

小・中学校における情報活用能力到達目標（例）一覧に基づく実践状況の把握と更なる検証が必要である。

小・中・高等学校段階を通じた体系的な情報教育の推進を図るため、高等学校段階における情報活用能力の到達目標（例）を作成する必要がある。

【引用・参考文献】

- (1) 文部省 『小学校学習指導要領（平成10年12月）解説』
- (2) 文部省 『中学校学習指導要領（平成10年12月）解説 - 技術・家庭科編 - 』
- (3) 文部省 『高等学校学習指導要領（平成10年12月）解説 - 情報編』
- (4) 情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進などに関する調査研究協力者会議「第1次報告」 体系的な情報教育の実施に向けて（平成9年10月3日）
- (5) 文部科学省 『インターネット活用のための情報モラル事例集』（平成13年3月31日）
- (6) 赤堀侃司著 『情報教育の方法と実践 小学校編 情報活用能力をはぐくむ』
（平成12年3月31日）ぎょうせい
- (7) 赤堀侃司著 『情報教育の方法と実践 中学校編 情報活用能力を伸ばす』
（平成12年3月31日）ぎょうせい
- (8) 火曜の会 <http://kayoo.org/home/>

【調査研究担当者】

情報教育研修課長	中村辰夫	情報教育研修課研究主事	六笠登由
情報教育研修課係長	諏訪園博志	情報教育研修課研究主事	孤杉勉
情報教育研修課研究主事	西村久人		

【前調査研究担当者】

鹿児島県教育庁 学校教育課 産業教育係長	池崎和弘
（前 情報処理教育研修室研究主任）	
かごしま県民大学中央センター 学習情報係長	橋口紀文
（前 情報処理教育研修室研究主事）	
鹿児島県総合教育センター 企画課 研究主事	有馬敏和
（前 情報処理教育研修室研究主事）	

【調査研究協力者】

鹿児島市立中山小学校	教諭	遠竹伸一
日吉町立日新小学校	教諭	北洋昭
薩摩川内市立祁答院中学校	教諭	平山敏行
串木野市立羽島中学校	教諭	上白石修
鹿児島市立郡山中学校	教諭	金丸正志
開聞町立開聞中学校	教諭	溜清弘

研究紀要 第109号

児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力到達目標に関する研究

- 小・中学校編 -

平成17年3月1日発行

発行者 鹿児島県総合教育センター

〒891-1393

鹿児島市宮之浦町862番地

電話 099-294-2312

FAX 099-294-2309

URL <http://www.edu.pref.kagoshima.jp>